



EXPO 2005 AICHI だより

2001年(平成13年)12月14日号

No. 15

<http://www.expo2005.or.jp>

愛知万博の基本計画発表

世界中の人々が集い合う大交流の舞台。
演出するのはすべての参加者です。



国際博覧会協会は12月3日、2005年日本国際博覧会(愛知万博)の「基本計画」を策定し、約70ページの小冊子に取りまとめ公表しました。

「基本計画」は、『自然の叡智』をテーマとする愛知万博を実現するために必要な事業の要素と方針を総合計画として示したもので、今後この基本計画に基づき、世界中からの参加の促進、様々な事業の実施計画の策定、会場の設計・建設などの具体的な取り組みを推進していきます。

かいしよ
海上地区
愛知万博の
原点としての
「メモリアルゾーン」
里山の自然・陶磁器・市民の
主体的な参加と交流を核とし
た事業を展開します。



青少年公園地区 地球大交流を体験するにぎわいのゾーン

国や国際機関、民間企業、市民など多彩な参加者のもと、国際博覧会の規模感と来場者の楽しさあふれる体験を演出します。

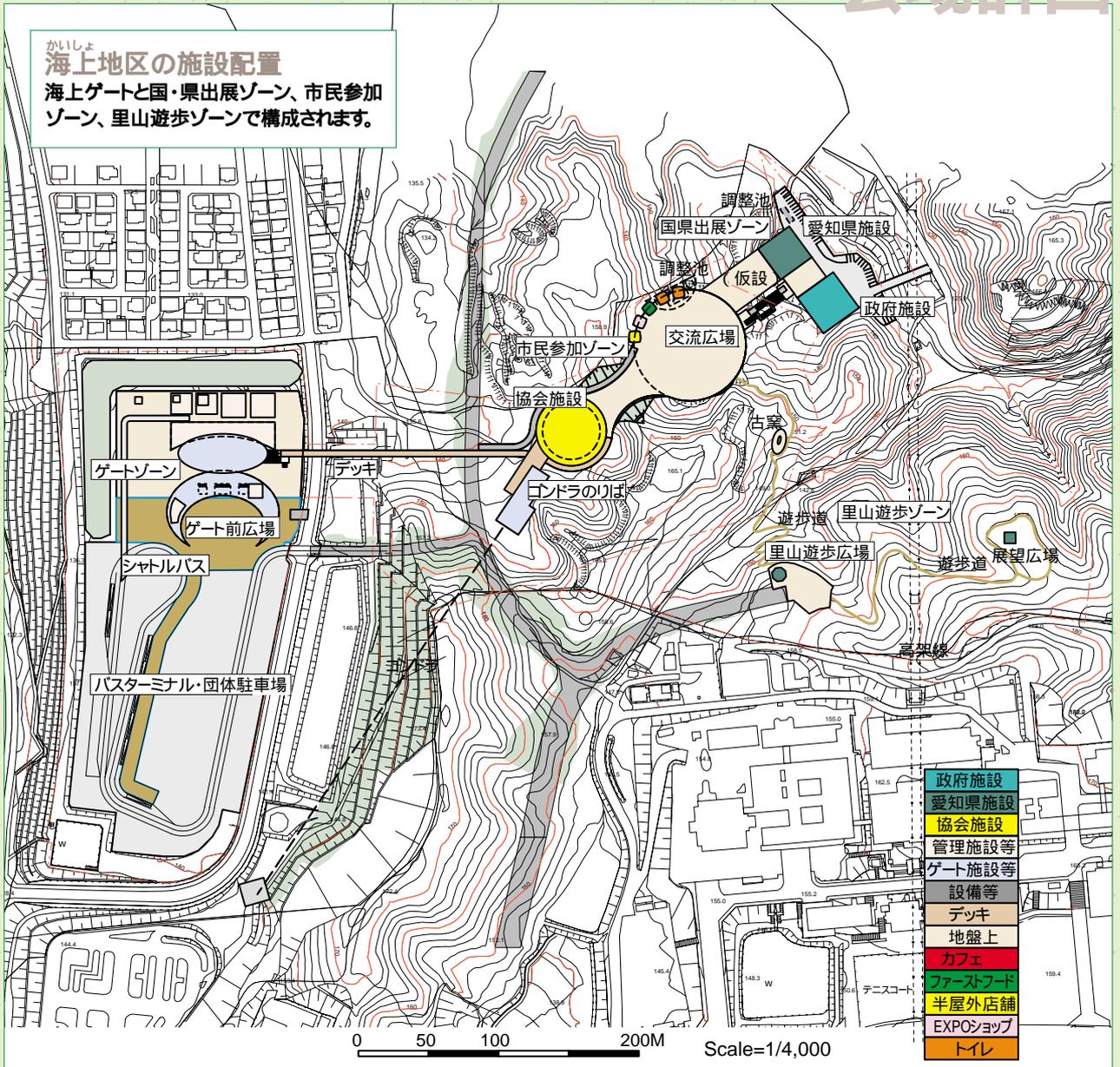
CONTENTS

EXPO 2005 AICHIだより 2001.12.14

会場計画.....2,3
・施設配置計画
・会場ゾーニング
・施設規模
輸送計画.....2
事業計画.....4,5
・海上地区
・青少年公園地区
催事計画、営業計画、参加計画.....6
会場運営計画、全体スケジュール.....7
愛知万博メッセージ、概要、事業方針.....8

EXPO 2005 AICHI

会場計画



政府施設
愛知県施設
協会施設
管理施設等
ゲート施設等
設備等
デッキ
地盤上
カフェ
ファーストフード
半屋外店舗
EXPOショップ
トイレ

施設規模

屋内施設面積		建築物面積	
青少年公園地区			
展示施設	公式参加出展(外国)	52,000㎡	
94,000㎡	政府館(日本館・テーマ館)	6,000㎡	
	自治体館	5,000㎡	
	協会事業・民間館	31,000㎡	
催事施設	大催事施設	8,000㎡	
13,000㎡	小催事施設	2,000㎡	
	コンベンション施設・ギャラリー	3,000㎡	
管理・交流施設等	管理・交流施設	39,300㎡	
65,000㎡	営業施設	15,300㎡	
	その他の施設	10,400㎡	
合計		172,000㎡	
既存施設内面積		10,000㎡	
合計(既存施設除く)		162,000㎡	
		既存施設利用を含む	
海上地区			
展示施設	政府施設(国)	3,000㎡	
9,000㎡	愛知県施設	3,000㎡	
	協会施設	3,000㎡	
その他施設	管理施設等	4,800㎡	
5,800㎡	営業施設	1,000㎡	
合計		14,800㎡	
ループ等			
ループ等		80,200㎡	
合計		80,200㎡	

輸送計画

1 最適な輸送手段とアクセスルートの確保

・来場者にとって「分かりやすく円滑」を基本にします。

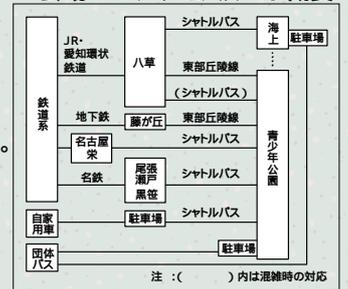
2 環境 / 地域への配慮

・公共交通機関の積極的な利用促進を目指すとともに、パーク&ライド方式を導入します。
(鉄道系で約60%、道路系で約40%を想定)

3 ITSやITの導入による情報提供 / 移動空間の演出

・最新のITS(高度道路交通システム)やIT(情報技術)と既存のネットワーク基盤の複合活用によるきめ細かい情報提供を実施したり、会場へのアクセス自体に演出性をもたせます。

会場へのアクセスルート概要



アクセス手段別想定来場者数

鉄道系	八草経由 藤が丘経由 駅シャトル	540万人(約36%) 230万人(約15%) 110万人(約8%)
鉄道系計		880万人(約59%)
道路系	自家用車 団体バス	390万人(約26%) 230万人(約15%)
道路系計		620万人(約41%)
合計		1,500万人(100%)

[青少年公園地区]

事業計画

グローバル・コモン

グローバル・コモンは、各国や国際機関の出展施設群と共有広場で構成する「公式出展ひろば」です。

1 陳列区
(モジュール形式の出展パビリオン群)

・参加国は最大5モジュールまでの希望するモジュール数を協会に申請します。[1モジュールは18m x 18m x 9m(高さ)]
・6つのうち、どの位置のコモンに出展するかは参加者の意向を踏まえつつ調整しますが、地域別やテーマ別などを検討していきます。

2 ファサード(建築前面)

・参加者の「顔」を表現する造形をつくります。

3 イベント広場

・中核イベントは各国の伝統的な音楽、舞踏、芸能、美術を生かします。

4 国際バザールを展開する
飲食、物販などの店舗群など

・6つのそれぞれのコモンが個性的なものになるような演出を行います。ゲート、シンボル造形、植栽、バナーなど。

グローバル・ループ

グローバル・ループは、多様な特徴と機能を持ち、これを生かした多彩な演出を展開します。

特徴

自然地形との共生を最大限に配慮

バリアフリー

会場全体の分かり易さ

立体的な会場構成の提供

機能

地球大交流を体感できる会場の主動線としての「水平回廊」

・全長2.5km、標準幅25m、ゆっくりした歩行速度で1周1時間程度のコース。

・ループを1周できる観客移動システムも検討。

パレードやパフォーマンスを展開する交流広場

情報サービスと休憩機能

かいしょ
[海上地区]

1 政府出展事業

・自然との一体感を満喫できる安らぎの場を提供するとともに、自然と人間の新たな交流の場を目指します。特に、「自然と共に生きるわざと智慧」を紹介します。

2 愛知県出展事業

・21世紀の地域社会のモデルとして「エコ・コミュニティ」づくりを提案します。
・展示の開発や制作プロセスに県民が参加できる仕組みを導入します。

3 市民交流プラザ

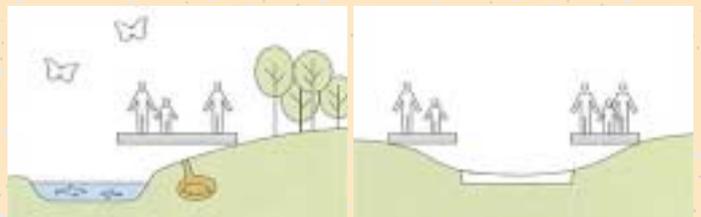
・市民交流活動を支援する展示施設、催事施設、参加体験広場で構成します。
・市民参加実行組織の下、市民が主体的に参加、交流、表現を行います。

4 陶磁器でつくる広場

・地元市民をはじめ日本中及び世界中のやきものの産地と連携してつくる広場です。

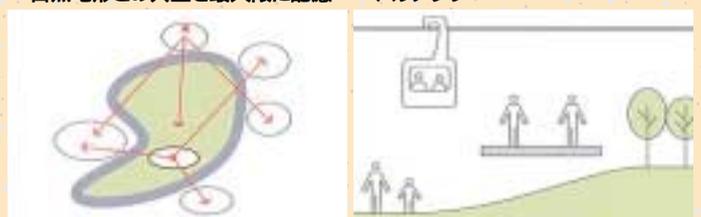
5 里山の自然と歴史を体感する遊歩道

・政府施設、愛知県施設から、陶磁器の歴史を伝える古窯を経て沢を渡り、海上の森を展望する遊歩道を設けます。



自然地形との共生を最大限に配慮

バリアフリー



会場全体の分かり易さ

立体的な会場構成の提供

EXPO 2005 AICHI

日本ゾーン

1 日本政府館

- ・主催国館として、テーマ、サブテーマを展開します。
サブテーマの展開例
- ・宇宙、生命と情報：マクロからミクロ。過去、現在、未来。宇宙、地球、生命。自然の循環を作成。
- ・人生の「わざ」と智慧：子ども地球環境レポーターが自然観察。レポートを世界に発信。
- ・循環型社会：最新の環境技術を紹介。

2 愛知・広域交流館

- ・地域の独自文化を生かした話題性の高い展示演出を行います。

3 名古屋市館

- ・21世紀に名古屋市がめざす都市像をアピールします。

4 その他、全国の自治体参加と日本交流広場

食と農

- 「食と農」の大切さについて参加体験できる事業。
展示は「お米」や「フルーツ」などをテーマとします。

ゲートシティ

- ゲート機能の他に、情報・サービス機能や接遇機能、協会の管理機能や本部機能など多機能な都市交流空間を計画します。



森林体感ゾーン

- 愛知県の公園整備事業と連携します。
かえで池、めだか池周辺は安らぎの空間。北側、南側の樹林地は樹木、草花、鳥、昆虫等とのふれあいの場として検討します。

センターゾーン

- グローバル・ループに囲まれた、大芝生苑、こいの池、既存施設の空間を生かし、「愛知万博の魅力とアイデンティティを高めるゾーン」、「集客の中心的なゾーン」として展開します。

1 グローバル・ハウス

- ・会場の中心部に位置する目印となる施設として、特徴的な外観デザインを施します。
- ・最先端技術を活用し、「人類と地球との共生」を展示演出します。
- ・先端技術の導入は、産・学・官の先端プロジェクトと連携します。

2 地球大交流広場

- ・世界の民族芸能の祭典や大規模コンサートなどを実施します。
- ・最先端の大型映像装置を備えた情報発信広場となります。

3 水と光と風のスペクタクル広場

- ・「水の惑星=地球」をテーマとした「水のパフォーマンス劇場」を展開します。昼・夕・夜の時間変化、春・夏・秋の季節変化を演出します。
- ・池の水質浄化と一体化したプロジェクトとします。



水と光と風のスペクタクル広場

地球市民村

- 国際的なNPO / NGOの参加を得ます。

- 自然環境と一体化した小規模パビリオンや領域型の展示空間、フィールドミュージアム、エコ・ツーリズムなどを展開します。



創造力遊園地

- 1 「愛知県児童総合センター」などを活用して展開する「学びのパビリオン」。
- 2 自然エネルギーや人間の力で動く自然系の道具を備えた「わくわく広場」。
- 3 1~2ヶ月の期間限定プログラムで展開するコンベンションホールではロボット、コミュニケーション、健康スポーツ、クラフトなど多彩な事業を推進します。



わくわく広場

EXPO 2005 AICHI

営業計画

オリジナリティあふれる商品・サービスを展開し、演出性、集客性、話題性のある施設を導入します。

構成と展開例

区分	内容	設置場所
飲食施設 テーブルサービス タイプ	<ul style="list-style-type: none"> ダイニングレストラン VIPや接遇ができる「和風割烹」「三つ星フレンチ」「宮廷中華料理」などの高級店 個室型ダイニングレストラン グループでミニパーティが開ける施設 ファミリーレストラン テーマレストラン シルバー世代をターゲットにした 医食同源レストラン 	青少年公園地区の北ゲート 西ゲート センターゾーン
フードコート タイプ (軽飲食店集約型)	<ul style="list-style-type: none"> カフェテリア(屋内型店舗) テント、パラソル利用の半屋外型店舗 	各グローバル・コモン
スタンド型 ワゴンタイプ (屋台型)	<ul style="list-style-type: none"> スタンド型やワゴンタイプの飲料 ショップ、軽食ショップ 夜間のみ出店「ナイトマーケット」 午前中だけの朝市 	グローバル・ループ上
物販施設 集積型店舗	<ul style="list-style-type: none"> 公式記念品販売店舗とその他店舗を 集積 	青少年公園地区の北ゲート、西ゲート 海上地区のゲート
EXPOショップ	<ul style="list-style-type: none"> 公式出展国、出展自治体の特産品、 記念品等 	各グローバル・コモン、 各ゾーン

催事計画

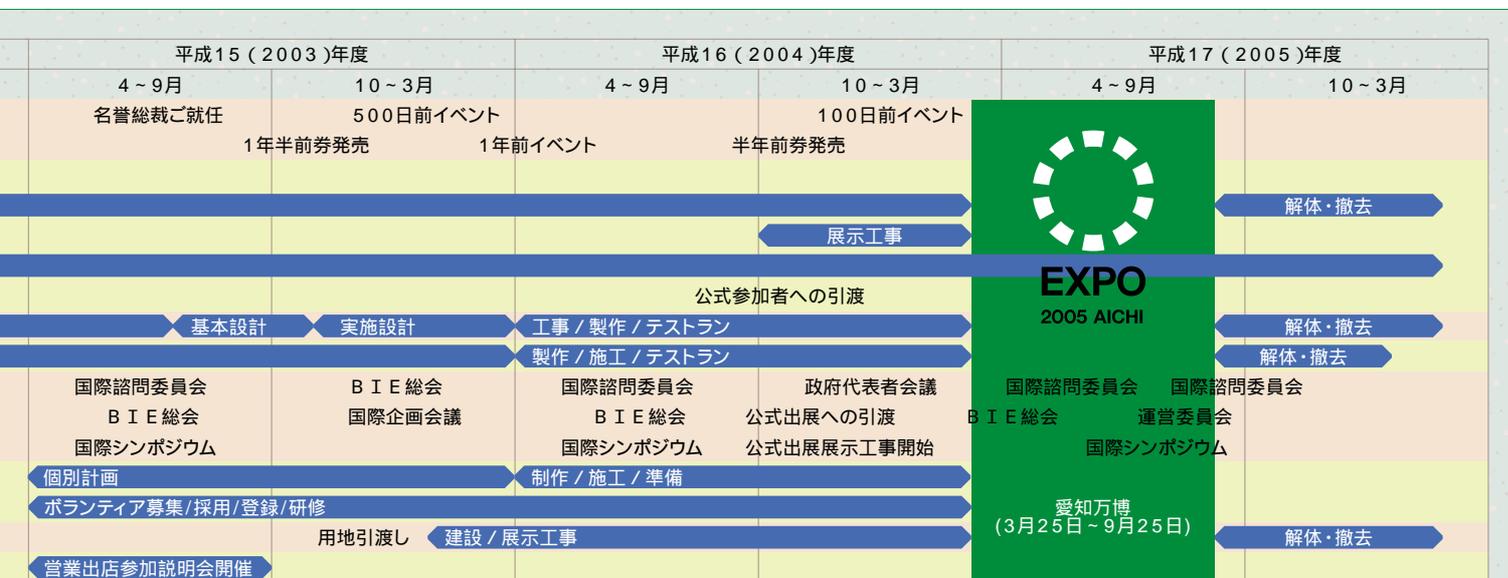
多様な参加者による多彩なプログラムを用意します。

構成と展開例

構成	内容	展開例
公式行事	<ul style="list-style-type: none"> 協会が主催する式典などの行事 	前夜祭 開会式 閉会式
公式催事	<ul style="list-style-type: none"> ・ナショナルデー 	公式参加する国が博覧会への参加を記念して行う催事
	<ul style="list-style-type: none"> ・スペシャルデー 	公式参加する国際機関や、政府が参加しない国の州や市が博覧会への参加を記念して行う催事
	<ul style="list-style-type: none"> ・準スペシャルデー 	都道府県や市町村など国内の自治体が、その参加を記念して行う催事
協会企画 催事	<ul style="list-style-type: none"> ・協会の主催もしくは国・国際機関、自治体、企業などと共催し、博覧会のテーマを訴求した主要催事 	地球大交流広場 水と光と風の スペクタクル広場
大型集客 催事	<ul style="list-style-type: none"> ・協会の主催、共催または企業等の持ち込みによる、大小催事施設でのステージ型集客催事 	コンサート ミュージカル 演劇・芝居 公開放送など
景観演出 催事	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル・コモンやグローバル・ループをはじめ会場各所でにぎわいを演出 	アトラクションイベント パレード等
市民交流 催事	<ul style="list-style-type: none"> ・協会が企画し、NPO/NGO、市民が主体的に参加し、国や国際機関、企業等が支援する参加型催事 	地球市民村 市民交流プラザなど
展示会 催事	<ul style="list-style-type: none"> ・企業、団体によるコンベンション型の持ち込み展示会催事 	ロボットフェスティバル 健康スポーツ クラブトなど

参加計画

主要な参加主体		主要な参加方法
公式参加	国 国際機関	<ul style="list-style-type: none"> ・モジュール単位によるパビリオン出展参加 ・エリアやブロックごとの魅力的な共有空間や演出空間づくりへの参加 ・パビリオン出展に併せ、ナショナルデー、屋外展示、催事、国際会議等のパビリオン出展以外の参加
	日本政府	<ul style="list-style-type: none"> ・日本政府による愛知万博の開催国としての出展参加
一般参加(含む海外)	自治体	<ul style="list-style-type: none"> ・瀬戸市、長久手町、豊田市をはじめ、愛知県や名古屋市等ホスト役としての地元自治体の参加 ・広域圏規模での自治体の参加
	企業 団体	<ul style="list-style-type: none"> ・パビリオン出展参加、協会企画事業参加など多彩な選択肢 ・団体・組織の多様な参加
	NPO NGO	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が自ら企画・運営する実行組織の設置 ・積極的なボランティア参加
	市民	<ul style="list-style-type: none"> ・国際的なNPO / NGO の参加
営業参加		<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ営業参加(博覧会のテーマや出店者の自主テーマに合わせた営業参加) ・一般営業参加(物販飲食営業参加 / 公式記念品営業参加等) ・有料サービス参加



EXPO 2005 AICHI

会場運営計画

来場者に対する「安全の確保」「快適・利便性の追求」「ホスピタリティの充実」が、会場運営の基本原則です。

会場サービス計画

1 マルチステーション型案内所の設置

- ・各ゲートに総合案内所を設置。様々なサービス機能を持たせます。

2 「休む」と「憩う」ための施設の提供

- ・リクライニングシート
- ・森林浴場
- ・フットケアやアロマセラピーのサービス施設の併設など

3 巡回スタッフ「EXPOLレンジャー(仮称)」の配置

- ・目立つユニフォームで会場内を巡回し、来場者に情報提供等のサービスを行う専任スタッフ。

4 ケアセンター、ベビーセンターなどきめ細かい観客サービス機能の配置

- ・その他迷子対応、救護、貸し出しサービス、郵便局設置など

5 最新ITを利用した「運営サービス」「情報提供サービス」の実施

- ・運営サービス：障害者対応や営業施設への対応
- ・情報提供サービス：携帯端末・情報掲示板・情報BOX、交通アクセス情報など



マルチステーション型案内所の設置

6 多様で快適な会場内移動

海上地区と青少年公園地区の移動は、シャトルバスに加え、ゴンドラを設置。

- ゴンドラは、青少年公園内の南北の移動手段としても活用。
- 青少年公園内の移動は、新しい場内移動システムを導入。
- ・ピーブルムーバー：折りたたみ可能で、1人から数人乗りまでの環境配慮型小型自動車
- ・場内トラム：グローバル・ループ上を回遊する接続型の小型カート
- ・IMTS：最先端技術を用いた中量輸送システム



ピーブルムーバー

会場管理計画

- ・愛知万博の会場特性を十分に踏まえて、「安全で安心して楽しめる会場」のために万全を期します。
- ・警備、賓客接遇、防災・消防、医療・衛生、施設維持・植栽、清掃、物流など個々の具体的な対策については、関係当局などと連携し、国際博覧会にふさわしいものにしていきます。

全体スケジュール

	平成13(2001)年度		平成14(2002)年度	
	10~12月	1~3月	4~9月	10~3月
全体行事	基本計画策定		1000日前イベント	
		基本設計	実施設計	2年前イベント
会場計画・建設・環境			環境アセス追跡調査	工事
			修正評価書公告	
協会企画事業		基本計画/プロモート/参加主体設立		実施計画
催事		基本構想・基本計画		実施計画
国際関係	B I E 総会 在日外交団報告会 国際シンポジウム		国際諮問委員会 B I E 総会 国際シンポジウム	B I E 総会 国際企画会議 出展場所割当申請期限
市民参加			市民参加実行委員会設立 ボランティア協会設立	実施計画
民間バピリオン出展参加	企業説明会	参加招請状送付	出展参加説明会	出展参加契約
営業参加			営業出店基本計画	

EXPO 2005 AICHI

「自然の叡智」を縦糸に、地球大交流を横糸に 幅広い参加と交流の博覧会を開催します。

愛知万博メッセージ

20世紀には、新しい地球社会が生まれた。
信じられないほどの科学・技術の進歩・発展、高速移動手段の発達と情報・通信技術の進化が、人・モノ・情報の交流を地球規模で活性化させ、世界を一変させたのだ。

その結果、巨大化した人類の活動は、地球自然の許容量を超え、さまざまな危機を知らせるシグナルが点滅し始めている。

地球上の総ての「いのち」の持続可能な共生を、全地球的視野で追求することが、21世紀における地球社会の構成員総ての課題となった。

この課題を解決するために、私たちは愛知万博のテーマである「自然の叡智」を縦糸に、豊かな交流を横糸にして、地球社会を包む、柔らかく、豊かさ
と美しさにあふれる織物を織り上げようと思う。それは地球社会の新しく、美しい装いになるだろう。

「自然のもつすばらしい仕組みと、いのちの力」に感動し、世界各地での自然とのさまざまなつき合い方、知恵に学びながら、多彩な文化・文明の共存する地球社会を創ろうではないか。

国家・地域・企業・自立した市民・NPO / NGO、ボランティアなどの地球社会を支える人々の多様な営みと多彩な参加が、美しい織物を織り上げるだろう。

多様な交流が様々な摩擦を生むこともある。だからこそ、私たちは人類の持つ理性と愛と美しいものへの憧憬を、大切に育てたい。

人間らしい交流の原点とは、何だろう。
それは人が人と出会い、語り合い、理解し合い、尊敬し合い、愛し合うことにあるのではないか。

そのための交流の舞台「EXPO2005AICHI」をつくろうと思う。

私たちは世界の人々に呼びかける。
AICHIに集まろう。互いに見つめ合い、微笑み交わし、抱き合い、多彩な知恵の交流する世界を、全身で体験し、全感覚で楽しもう。

地球の総ての「いのちと未来」のために!!

概要

時代背景

地球環境問題、資源問題等の深刻化
IT時代の本格化
視野の飛躍的拡大
価値観の多様化
市民参加、NPO/NGOの大きな潮流
高齢社会への突入期
地域間、民族間の対立の存在

開催目的

壮大な文化・文明創造事業
多様な文化、価値観の交流の場
日本から世界への発信
現在から未来への発信

開催地域の地勢と特質

中部圏・愛知は日本列島の中心に位置するハートランド・オブ・ジャパン
愛知・東部丘陵地域は、各々の時代でものづくりを先導してきたハイテクランド
開催地域は未来の産業文化観光を担う地域

開催概要

名称	正式名称：2005年日本国際博覧会 略称：愛知万博(EXPO2005AICHI)
テーマ	自然の叡智
サブテーマ	宇宙、生命と情報 人生の「わざ」と智恵 循環型社会
開催期間	2005年3月25日～9月25日(185日間)
会場	愛知県瀬戸市の南東部、長久手町の愛知青少年公園 及び豊田市の科学技術交流センター予定地の約173ha
事業費	本博覧会の準備及び運営に要する資金計画の総額は、「会場建設費」1350億円、「運営費」550億円。
入場者数	1500万人

事業方針

1 事業企画の重点

生命、宇宙など未知の自然へのアプローチ
自然と共にある暮らしの喜び
環境負荷の低い社会、循環型社会のモデル
ITの徹底した実用化と新たな実験
楽しく魅力的な高齢社会のモデル
世界各国の文化・文明の対話

2 事業実施の重点

楽しさ、おもしろさの演出
多様な形態による参加
広域連携のネットワーク構築
中部地域の発展と技術力の活用

3 環境配慮の考え方

環境影響評価の実施
自然地形・素材の活用
循環型技術の導入を検討
3Rを目指した建設・運営
公共交通利用の促進
楽しみながら学ぶ機会の提供

4 事業コンセプト

「自然の叡智」を巡る多様な知恵と文化を持ち寄る『地球大交流』

文化・文明の多様性を体験・共感
地球規模でのムーブメント(運動)を創出
産・学・官と市民の共同事業による新たな社会実験の場
参加体験学習(ラーニング・エクスペリエンス)の機会と場を多彩に創造
日本の文化観光交流立国への歩みを加速